

降雪に対する農作物・農業用施設の技術対策

令和5年1月 本庄農林振興センター

近年、自然災害等が多発しています。特に、平成26年2月、28年1月に積雪した農業用施設では、歪みや損傷を受けている場合があり、通常よりも強度が弱くなっています。必ず以下の点検・対策を実施し降雪に備えてください。

事前対策

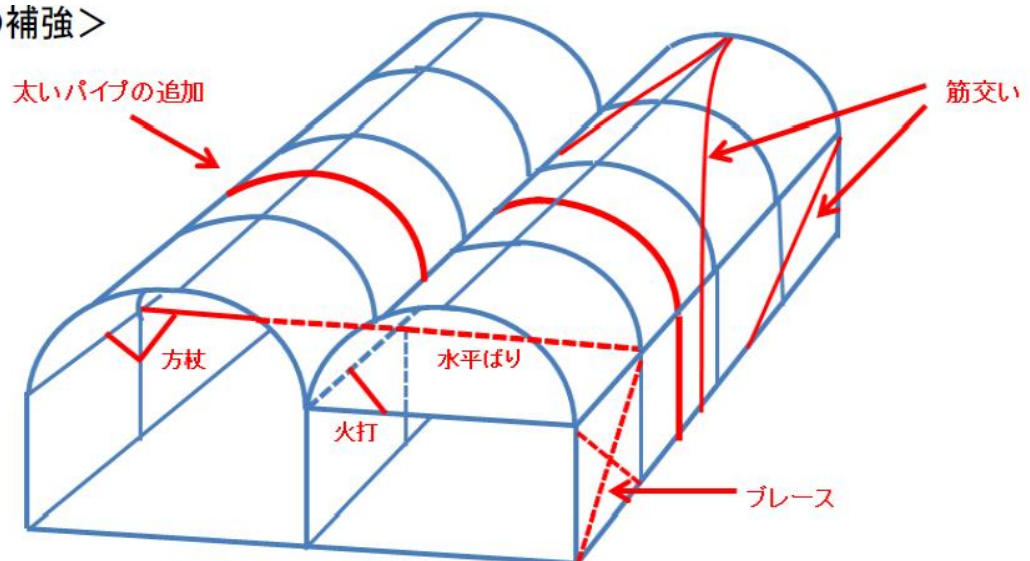
共通

- ❑ 融雪水が流入したり、滞水しないように施設やほ場周辺に排水溝を設置しましょう。
- ❑ あらかじめ、除雪作業の支障となるものは移動しておきましょう。

農業用ハウス

- ❑ 被覆資材のたわみが雪の滑落を妨げるため、たわみがないか点検しましょう。
- ❑ 被覆の外部に設置したネットや遮光資材は、雪の滑落を妨げるため撤去しましょう。
- ❑ ハウスの補強資材や固定部品にゆるみがないか点検しましょう。
- ❑ 暖房機を点検するとともに、燃油残量を確認し必要に応じて補給しましょう。
- ❑ 除雪作業により燃料パイプなどが損傷しないようカバー等で保護しましょう。
- ❑ 積雪により負荷のかかる箇所を支柱や筋交い等で補強しましょう。

<ハウスの構造の補強>



降雪時、降雪後の対策

共通

- ❑ 融雪水が流入したり、湛水しないよう施設やほ場周辺に排水溝を設置しましょう。
- ❑ 施設の破損、倒壊等が生じ、被害が軽微であった場合には、早急に修復を行い、施設内温度の確保に努め、低温による栽培作物の生育障害・枯死等の被害を防止しましょう。
- ❑ 一部損壊を受けた施設内の作物はトンネルやべたがけ等で被覆し、保温しましょう。
- ❑ 積雪により停電が発生する恐れがあるため、電源や設備の状態に注意しましょう。

農業用ハウス

- ❑ 加温設備のあるハウスでは、カーテンを開け、暖房機を運転してハウス内の暖気を拡散し、屋根や谷部の融雪を促進しましょう。(注1)
- ❑ 加温設備のないハウスでは、カーテンを開放し、地熱の放射により、融雪を促進する。(注1)
- ❑ 雪が積もったら、速やかに雪下ろしや除雪を行いましょう。
- ❑ ハウスサイドの積雪が多くなると、屋根の雪とつながり雪が落ちなくなるため、ハウスサイドの除雪を行ってから上部の雪を下ろしましょう。
- ❑ 除雪の際には、電気配線や燃料の配管を傷つけないよう注意しましょう。

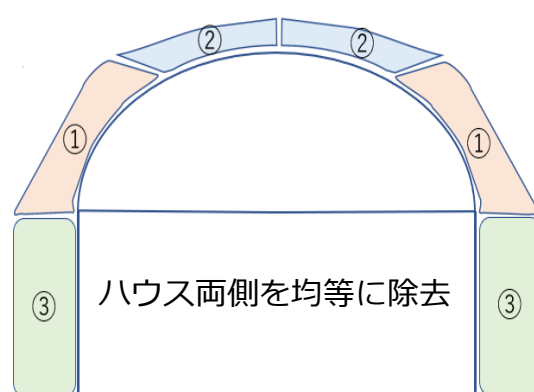


図 ハウスの除雪の順番

- ① ハウスの肩部
- ② 屋根部
- ③ 側面部

(注1)：積雪してからでは効果がないので、積雪前におこないましょう。

農作物の対策

■ 施設栽培

(1) 野菜類

- ❑ 降雪後の急速な天候回復に伴って、葉や果実に日焼けを生じることがあるので、温度管理に注意するとともに、急激な換気はしないようにしましょう。
- ❑ 降雪に伴って日照不足による草勢低下が心配されるため、摘葉を控えるなど、葉面積を確保して草勢を維持しましょう。

(2) 花き類

- 降雪後の急速な天候回復に伴って、花き類では花や葉に日焼けが生じることがありますので、温度管理に注意するとともに、急激な換気は避けましょう。
- 降雪や積雪等で日照不足となり草勢低下や病害が心配されるため、液肥や病害防除を行い、草勢を回復するよう管理しましょう。

■ トンネル栽培

- こまめに雪かきを行い、つぶれないよう気をつけましょう。
- 茎葉が損傷した場合、収穫・出荷時には丁寧に調製を行って品質を保持して下さい。

※ 施設倒壊が危惧される
場合には、人命最優先とし、
施設内には立ち入らない



コバトン